

### 常総市のアグリサイエンスバレーを 参考モデルに

小野 潔



**問** 三輪野江地区のまちづくりでは、「農地保全エリア・農業拠点検討エリア・将来開発エリア」の3つに分けて進めている。①将来開発エリアの『工業団地開発』の進捗状況は。②農業拠点検討エリアの『農業パーク構想』の進捗状況は。③千葉大学の提言で提案された常総市の『アグリサイエンスバレー事業』を参考に。

**答** ①地権者の半数が民間事業者との契約等の現状がある。県企業局との共同事業方式は困難となり、民間開発を想定。②高品質な野菜類の栽培や観光的な要素も考えた高級果樹類等の生産など、多面的な取組の出来る事業者とのヒアリングを実施。③市でも視察を行い進め方や手続き等も教えていただいた。参考とした。

#### ◆子育て支援について

**問** ①伴走型相談支援及び妊娠時・出産時の各5万円の応援給付事業の反響は。②「入学準備応援給付金」を来年以降も実施しては。③「18歳までの子ども医療費無償化」の周知状況は。

**答** ①相談でき安心、経済的に大変助かるとの声。②やらない。③対象者へ案内を送付した。

### 安全安心のまちづくり について

松崎 誠



**問** 市街化調整区域内で、交通の不便な地域に居住する75歳以上の方で、自ら日常の交通手段を持たない方に、料金の一部を助成するタクシー利用料助成事業について伺う。予約困難な時があると聞くが事業者へ何か働きかけているか。

**答** 市内、1事業者で運行されている中で、利用者の方々のご不便を感じていることは市としても把握している。事業者の人手不足解消に向け、事業者との連携を密にして対応する。

**問** 埼玉型は場整備事業を利活用して、農地等の利用集積・集約化を推進し、生産性の高い優良農地をしっかりと次世代に繋げていくことが大切だ。埼玉型は場整備事業は、整備を進めるにあたって地権者の方々の金銭的負担がないことが大きなメリットの一つになる。今後の取り組み方針について伺う。

**答** 担い手への農地集積加速化がメリットであり、後継者不足や遊休農地の解消につながる。本事業の実施に当たり100%の同意や営農ビジョンの策定等があり、調整が必要となることから関係機関との調整を図っていく。

### 公共での喫煙について

菊名 克典



**問** 喫煙所の案内表示を設置することで、喫煙者のマナー向上、路上喫煙の減少が見込まれ、受動喫煙のリスク低減に繋がると考えるが、市としてのご所見を伺う。

**答** 現在も各施設において喫煙スペースの案内を表示しているが、来場者等に確実に喫煙スペースへご案内することは困難である。よって、喫煙の際は各々が非喫煙者へ配慮していただけるよう、引き続き喫煙マナーの啓発に努める。

#### ◆学校部活動から地域クラブ活動への移行の進捗状況 について

**問** この1年間で想定以上のスピードで進んでいることを実感している。子どもたちの活動のためにもスピード感が必要だと思うが、いかがお考えか。

**答** 部活動に関して様々な動きがあり、機をとらえて動くことの重要性も認識している。環境の変化に注視すると同時に、子どもたちが将来にわたってスポーツや文化芸術活動に親しむことのできる環境づくりを最重視とし、継続的に活動できるよう段階を経て取り組んでいく。

### 吉川市公共施設 長寿命化計画について

大泉 日出男



**問** 国では、学校等の施設整備予算に充当されている5ヶ年加速化対策が令和3年から令和7年に進められる。近年の予測不能な自然災害から人命を守るために、文部科学省と各自治体が連携し推進すべきだ。当市での本計画では、早急に対処すべき施設は何カ所で、具体的な棟数、そのうち劣化調査は何棟か。

**答** 対象施設は51施設、162棟のうち60棟となっている。計画上では5年ごとの計画見直しにはなっているが、実際は、緊急の優先度が高まった際には都度修繕を行っている。

**問** 全国的に外壁等の落下事故が多発し、直近では昨年4月に北九州市で、10月に久喜市で外壁落下。約5年前に当市でも一斉点検をした経緯がある。その後の対策と現在の管理体制はどのようになっているのか。

**答** 平成30年には全校総点検を行い、現在も同様に外壁総点検を実施している。落下事故にならないよう、常日頃からの点検に取り組んでおり、各学校の管理職から毎月報告や年1回の中期管理計画報告の実施、マニュアル作成もされており、共通での取り組みを実施している。